

水と緑にあふれる北関東のどまん中 支え合い、人と地域が輝く 交流拠点都市を目指して



平成 17 年 2 月 28 日、佐野市、田沼町及び葛生町の合併により新たな「佐野市」が誕生いたしました。合併後の平成 18 年度には、新市として最初の総合計画を策定し、将来像である「育み支え合うひとびと、水と緑と万葉の地に広がる交流拠点都市」の実現に向け様々な取組を積極的に推進してまいりました。

しかしながら、本市を取りまく社会環境は変化し、急速に進行している人口減少や少子高齢化への対応、地方創生時代の到来、全国各地における大規模災害の発生による安全・安心に対する不安意識の高まりなど、対応すべき課題も大きく変化してきています。

そのため、平成 30 年度からの「第 2 次佐野市総合計画前期基本計画」は、これまでの総合計画の成果実績を十分に検証し、また、国の大きな政策である地方創生を基本とし、市民の皆様の意向と市政公約の内容を計画に盛り込み策定いたしました。

将来像を「水と緑にあふれる北関東のどまん中 支え合い、人と地域が輝く交流拠点都市」とし、新たに推進テーマとして「定住促進」を位置づけ、7 つの基本目標、18 の政策、38 の施策に体系化することにより、各施策の現状と課題を明らかにし、課題の解決に向けた基本事業を設定いたしました。

また、リーディングプロジェクトとして推進してきました「観光立市」、「スポーツ立市」に、新たに「産業・文化立市」を加え、本市の高速交通の利便性を最大限に活用し、地域産業の発展と企業誘致による経済の活性化を図るとともに、市民文化の醸成と歴史・文化資源、文化芸術活動を本市の財産として保存・振興を図ることとで、市勢の進展につなげていきたいと考えております。

結びに、本計画の策定に際し、ご意見、ご提言をいただきました多くの市民の皆様、市議会、策定懇談会、まちづくり会議をはじめ、関係の皆様にご心からお礼申し上げますとともに、将来像の実現に向け、より一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成 30 (2018) 年 3 月

佐野市長 岡 部 正 英